

ディプロマポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の社会的貢献と地球環境への影響を自覚し、専門技術者として自己実現と自己責任の意識を持った自律できる資質と、総合的な視点から問題解決を主導できる資質を身につけ行動できる。 社会基盤の整備と社会に必要な都市デザイン工学の高度な専門知識と技術を習得している。あわせて、観察力、理解力、考察力、説明能力等の高度な実践能力を習得し、これらを活用して問題解決に当たることができる。 研究成果を発表等を通じて、技術者としてのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を習得すると同時に、グローバル化時代に対応できる高度な国際感覚・国際性を身につけ活動できる。 										196 単位																
専攻科目数		11 単位			5 単位			29 単位			12 単位		4 単位		8 単位		37 単位			22 単位		106 単位						
M2 M1	通年	グローバルテクノロジー特論a 1		グローバルテクノロジー特論b 1		● 建築・都市デザイン実習 2		M2 M1 前期		空間デザイン特論 2		社会資本計画特論 2		M2 M1 前期		海洋工学特論 2		コンクリート構造特論a 2		複合・合成構造特論a 2		● 必修科目						
	後期	応用数学特論 2		材料・デバイス開発実習特論 3		● 文献調査II 1		M2 M1 前期		都市・地域計画特論 2		M2 M1 前期		地盤工学特論 2		河川工学特論 2		コンクリート工学特論 2		維持管理工学特論 2		建築構造実験 2		建築構造解析実習 2				
	前期	応用物理学特論 2		外国語特論 2		● 文献調査I 1		M2 M1 前期		建築インタナショナル(意訳系) 4		建築設計実習 4		M2 M1 前期		建築インタナショナル(意訳系) 4		建築設計実習IIa(意訳系) 1		建築設計実習IIb(意訳系) 1		建築設計実習IIc(意訳系) 1		建築設計実習IIa(意訳系) 1				
分野		数値科目			学際科目			専門横断			デザイン・計画分野		環境分野		河海・地盤分野		構造・材料分野			年間履修上 組単位数 44								
カリキュラムポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤のデザイン・計画、都市・地域空間の創造と保全に関する高度な専門知識と技術を身につける。 建設物の特性を理解し、それらを活用した構築をはじめとする様々な構造物の計画、設計、施工、維持管理に関する高度な専門知識と技術を身につける。 社会基盤施設を支える地盤と土構造物の設計、施工、維持管理に関する高度な専門知識と技術を身につける。 河川・海岸にかかわる防災、利用、環境のための計画、調査分析、設計、維持管理に関する高度な専門知識と技術を身につける。 										年間履修上 組単位数 44																
アドミッションポリシー		都市および地域を対象に、自然環境と調和し共生できる安全・便利・快適な人間活動環境の創造に必要な社会基盤施設ならびにそのシステムの整備や維持管理にかかわる学理と技術を、建築学を含む柔軟な幅広い視野で学びかつ深く考え研究することに情熱を有し、持続可能な社会の発展に貢献するデザイナー、プランナー、エンジニアを養成する。 (求める人物像) <ul style="list-style-type: none"> 都市デザイン工学の高度な専門知識と技術を習得し、深く考え研究するために必要な基礎的知識を有している人 都市デザイン工学に関する研究や開発を主導する高度な技術者や研究者をめざし、新たな知識や技術の創造に向けての思考力、洞察力、行動力を有している人 専門分野を基礎とし、倫理観と責任感のある高度技術者、研究者として持続可能な社会の形成に生涯を通じて貢献する意欲のある人 										年間履修上 組単位数 44																
ディプロマポリシー		3年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。 <工学部> 1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく在学にかたがて主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を有している。(関心・意欲) 【主体的に生涯学習を継続する意欲と関心】 2) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれを活用できる。(知識・理解・技能) 【自らに求めらるべき「教養・技能の素養】 3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。(理解・応用・技能) 【専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)】 4) 技術者および社会人としてよきコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。(協働・表現) 【相互に理解し議論するコミュニケーション能力】 5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と協働的に協働して取り組むことができる。(意欲・協働) 【他者との協働による課題解決力】 6) 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動力がある。(魂胆・応用・倫理) 【社会に対し能動的に貢献する行動力】 ◆注：「3)」を明確化したものが、各学科のDPとなる <都市デザイン工学部> 都市デザイン工学部では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門分野の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。 (A) 総合的な視点からの基礎学力を修得し、広い視野と確かな判断力を身につける。(基礎学力・判断力) 【基礎学力・判断力】 (B) 科学技術の社会的貢献と地球環境への影響を自覚し、自己実現と自己責任の意識を持った自律できる技術者としての資質を身につける。(技術者倫理) 【技術者倫理】 (C) 工学、物理学、化学、地学、生物学など自然科学および情報の基礎的知識を身につける。(自然科学・情報知識) 【自然科学・情報知識】 (D) 都市デザイン工学部の専門領域(共通系、デザイン・計画系、構造系、コックラト・材料系、地盤系、河川・海岸系)の内容を修得し、社会基盤の整備や都市および地球環境の保全に関する専門知識と技術を身につける。(専門知識・技術) 【専門知識・技術】 (E) 協働性、指導力、計画的に作業を実施する資質を養うとともに、観察力、理解力、考察力、説明能力を身につける。(実践力・取組力) (F) 専門的な知識や技術を多角的・総合的に用いて社会が要求する問題を把握・整理し、解決するデザイン能力ならびにプレゼンテーション能力を身につける。(問題解決・プレゼンテーション能力) 【問題解決・プレゼンテーション能力】 (G) 社会人として基本的なコミュニケーション能力とマナーを身につける。(コミュニケーション能力) 【コミュニケーション能力】 (H) グローバル化時代に対応できる国際感覚・国際性を身につける。(国際性) 【国際性】 (I) 社会要請の変化に対応して、生涯学び続ける姿勢・自己学習の習慣および問題を解決する能力を身につける。(生涯自己学習) 【生涯自己学習】 ◆注：【】はディプロマ・サブメントシステムにおける学部および学科のディプロマ・ポリシー達成項目を明示										年間履修上 組単位数 44																
分野別到達目標		グローバル化時代に対応できる社会人の基礎的資質・能力として、広い視野の人文的教養にもとづき「理解力」、高度の基礎的知識と高い自己学習能力を身につけ、自らに求めらるべき「教養・技能」を身につける。			工学部観点から社会を積極的に発展させる基礎的資質・能力として、数学・物理学等の自然科学知識の基本的知識理解・応用と、自然環境との共生に貢献できる社会人としての資質を身につける。			工学部観点から社会を積極的に発展させる基礎的資質・能力として、数学・物理学等の自然科学知識の基本的知識理解・応用と、自然環境との共生に貢献できる社会人としての資質を身につける。			グローバル化時代に対応できる社会人の基礎的資質・能力で、工学部観点から社会を積極的に発展させる基礎的資質・能力を身につける。		社会基盤施設(以下、インフラ)と略記を計画、設計、施工ならびに維持管理する上で必要な基本事項を説明できる。		社会基盤と都市空間を、創造、改善、活用、保全、保護するための理論と分析・デザインする手法を用いて、実際の事例を説明できる。		土力、断面力、変形などの構造力学で学ぶ内容を習得し、構築を代表とする構造物の設計、施工ならびに維持管理の手法が説明できる。		代表的な建設材料であるコンクリートと鉄筋の力学特性が説明でき、コンクリート構造設計(PC)の設計と問題、施工ならびに維持管理の手法が説明できる。		地盤の力学特性が説明でき、インフラの基礎となる地盤の改良手法や、掘削、地盤などの自然災害からインフラを守る手法(防災・減災対策)が説明できる。		水の流れる特性が説明でき、洪水や津波、地盤からインフラを守る手法が説明できる。		建築物の設計・施工に関連する法規、施工技術、空調や音響等の建築環境および建築設備について説明できる。		卒業に必要な単位数 124単位	
専攻科目数		11 単位			5 単位			29 単位			12 単位		4 単位		8 単位		37 単位			22 単位		106 単位						
M2 M1	通年	グローバルテクノロジー特論a 1		グローバルテクノロジー特論b 1		● 建築・都市デザイン実習 2		M2 M1 前期		空間デザイン特論 2		社会資本計画特論 2		M2 M1 前期		海洋工学特論 2		コンクリート構造特論a 2		複合・合成構造特論a 2		● 必修科目						
	後期	応用数学特論 2		材料・デバイス開発実習特論 3		● 文献調査II 1		M2 M1 前期		都市・地域計画特論 2		M2 M1 前期		地盤工学特論 2		河川工学特論 2		コンクリート工学特論 2		維持管理工学特論 2		建築構造実験 2		建築構造解析実習 2				
	前期	応用物理学特論 2		外国語特論 2		● 文献調査I 1		M2 M1 前期		建築インタナショナル(意訳系) 4		建築設計実習 4		M2 M1 前期		建築インタナショナル(意訳系) 4		建築設計実習IIa(意訳系) 1		建築設計実習IIb(意訳系) 1		建築設計実習IIc(意訳系) 1		建築設計実習IIa(意訳系) 1				
分野		数値科目			学際科目			専門横断			デザイン・計画分野		環境分野		河海・地盤分野		構造・材料分野			年間履修上 組単位数 44								
カリキュラムポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤のデザイン・計画、都市・地域空間の創造と保全に関する高度な専門知識と技術を身につける。 建設物の特性を理解し、それらを活用した構築をはじめとする様々な構造物の計画、設計、施工、維持管理に関する高度な専門知識と技術を身につける。 社会基盤施設を支える地盤と土構造物の設計、施工、維持管理に関する高度な専門知識と技術を身につける。 河川・海岸にかかわる防災、利用、環境のための計画、調査分析、設計、維持管理に関する高度な専門知識と技術を身につける。 										年間履修上 組単位数 44																
アドミッションポリシー		都市および地域を対象に、自然環境と調和し共生できる安全・便利・快適な人間活動環境の創造に必要な社会基盤の整備や維持管理にかかわる学理と技術、およびこれらに関連するシステムを学び、かつ考究することに情熱を有し、持続可能な地域の発展に貢献することをめざす人物の入学を求めています。 (求める人物像) (1) 都市デザイン工学の高度な専門知識と技術を習得し、考究するために必要な基礎的知識を有している人 (2) 都市デザイン工学に関する研究や開発を主導する高度な技術者や研究者をめざし、新たな知識や技術の創造に向けての思考力、洞察力、行動力を有している人 (3) 専門性を基礎とし、倫理観と責任感のある高度技術者、研究者として持続可能な社会の形成に生涯を通じて貢献する意欲のある人 (4) 人間の成長および自己実現をめざす向上心を持ち、共同作業の重要性を認識し実行できる人										年間履修上 組単位数 44																